

新聞に寄稿してみた



北羽新聞 平成27年3月29日(日)号

地元、秋田県能代市には北羽新報(羽州の北だからかな)という新聞があります。秋田県としては秋田魁新報という地域紙があるのですが、それよりも小さい単位で配布されている地元密着新聞です。

石井です。

とある三月の日、秋田に戻っていた私は、仕事の移動の合間にふと思いつきました。普段東京にいて地元にはない自分の意見を広めるには地元新聞に意見を書いたら良いのではないか。コンビニに車を止めた私はお茶を買い、運転席でパソコンを開いて原稿を書き始めました。

書いているうちにみるみる原稿はA4用紙二枚分ぐらいになりました。多少の見直しの後、悩んでも仕方ない、と勢いで北羽新報社へメール送信。画像もつけておきました。わーい投げちゃったー。それからそのことはすっかり忘れて一日を過ごしました。

翌日、新聞社の担当の方からメール返信、掲載してくださいとのこと。筆者紹介を修正していただいてさらに次の原稿もあれば載せて下さるとのこと、不定期ながら連載つばい流れになりました。もちろん寄稿ですので原稿料は出ませんが、もうちょっと先の未来のために意見を広められるなら良いことです。

それから二回の原稿を送り、どちらも掲載いただきました。コーナーのタイトルまでカラーでついて、いいんですか本当に！ってな扱いです。

四月下旬に地元に戻った際には友人らのほか、市議の方にも北羽新報掲載の件でお声がけいただきました。みんな見てるんですね！

ということで「バスケの街能代を始めよう」は北羽新報社にて不定期連載中です。東京では手に入らないのですが、私の手元にはありますので、そのうち来社して読んでみて下さい。

ワーク

言葉のチカラ

言葉の持つ力というのは侮れない。自分に言い聞かせる言葉、人に伝える言葉、よく考えてもっと大切にしていかなば!

2人1組になり、1人は指で輪っかを作り、もう1人はその輪を外そうとします。

ポジティブな言葉をかけて再挑戦

すぐ
外れた!

強くなる!

できる!

どうなるかな？



発行
株式会社ピングプラン

連絡先
03-5817-4308
info-cs@pingplan.com

請求書が変わりました

2015年4月より、ピンプランの請求書が変わりました。

ご請求書		2013年4月	
株式会社ピンポンラン		御中	
下記の通りご請求申し上げます。			
10,800	円		
会社名 株式会社ピンポンラン 〒113-8504 東京都文京区大塚1-18-8 東武ビルC2A棟 TEL：03-3817-4308 FAX：03-3817-4309			
日付	金額	合計	
3/31	¥ 10,000	¥	10,000
		¥	-
		¥	-
		¥	-
		¥	-
		¥	-
		¥	-
		¥	-
右記金額	2013年5月31日	合計	¥ 10,000
		お振込	¥ 800
明細・備考事項 			
お支払先名 〒104-8563 東京都中央区新富町1-1-1 三井物産ビルディング5F メインバンク：郵便局留（505） 口座通帳：51 ピンポンラン シェアネット銀行 本多城支店（061） 普通口座 712769 株 ピンポンラン			
貴社様とご利用いただき、ありがとうございます。ぜひ、ご連絡ください。 今回の請求の事になります。何か質問の際は、ぜひ、ご連絡ください。			
03-5817-4308		info@pinponlan.jp	

自社の請求書ではありますが前から「なんてつまらないんだろう」と思っていました。

一番重要なお金の部分が事務的でどうするんだろう。せっかくお金を払っていたんだけどのな、「ありがとう」を伝えたい。

せっかくおつきあいできたのだから、今後も連絡をいただきたい。だから電話番号を大きく。

そんな気持ちから生まれた新しい請求書。わかりにくい部分などあれば、いつでもご連絡ください。

どうも、浦田です。

とある業界のホームページを数百と確認する機会があったのですが、当然様々な品質のホームページをみる事になりました。

その出来の良さ悪さが出るのは仕方ないとは思いますが。

企業さんによって、出せるお金も時間も違うのですから。

たとえば、サービスの申し込み先がわかりにくく時にはページのどこを開いても、申し込み先情報が見つからない場合があります。

お客様が「申し込む」「買う」という目的を達成するのが困難な作りであっては、もったいないですよ。

以前、様々な道具やホームページの使いやすさを研究する部署に就いた時に『ユーザビリティ』について集中的に勉強をした時がありました。

「使い勝手」とか「使いやすさ」と日本語訳されますが、商品やサービスがお客様にストレス無く使ってもらうためにはどうしたらよいか？という学問だと思って下さい。

実際の仕事に生かす場合は、その商品 / サービスを実際に目的をもって触ってみて使ってみて目的達成についてストレスの高いところを改善点として修正していくことになります。

作った人の思い込みが検証されずにそのまま商品になったときには悲劇が起こります

『ユーザビリティ』

の大切さ

例えば USB 規格。上下を間違えて挿そうとして挿せなかった人が今こうしている間にも全世界に何人もいる事でしょう。

考えた人は良かれと思ったシンプルなデザインかもしれませんが、そのイライラを発生させないデザインは十分に可能だったのではないのでしょうか。

少しの検証や少しの工夫があれば、ユーザーはもっと満足したり不愉快な気持ちにならないで済むのです。『ものを作る人はみんなユーザビリティの勉強をすればもっと世界は幸せになるのに』と、強く思う様になりました。

皆さんの多くも、誰かの為に何かを作っている仕事にされていると思います。

「使う人の気持ちを考えて作る」という気遣いや思想の先に『ユーザビリティ』という実学がありますから、ほんのちょっとでも覗いてみては如何でしょうか？

ご自分の商品やホームページについてユーザビリティが不安になったら、お気軽にご相談ください。



「うー、部屋片付けたくねー…」

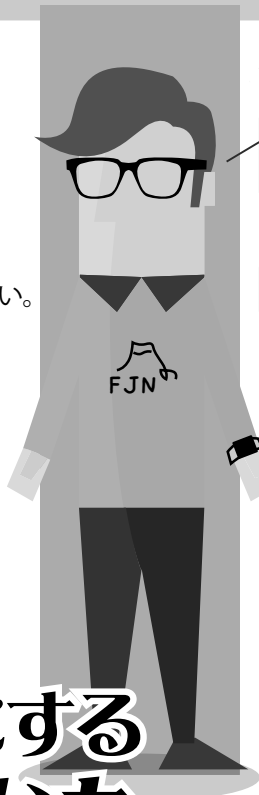
片付けるのが基本下手なので、割りと部屋は散らかりっぱなしです。
デスクがあまりに散らかってることに気づいたので、ちょっと今から片付けますね。

片付けました。やはり、綺麗になると気持ちがいい。
フフフ…。いい気分だ。

待てよ…これは視覚から得た「キレイになった」という情報がもたらす気持ちなのか！

人は視覚情報が八割。つまり視界をハックすることができれば、世界を変えることは可能なのではないのか!!
今やウェアラブル端末(身に付ける機械)がザクザクと出始めているではないか。

世界を綺麗にする 冴えたやりかた



まずは、

視覚を制御し、快適な生活を送るためにメガネ型の  GoogleGlassかJINS Memeを手に入れて…

でも、音楽とか聞きたいよな…となると腕時計型の  AppleWatchか…

そういえば、指輪型の  Ringで家電を操作するなんてのもYoutubeで見たな…

となると、GoogleGlass、JINS Memeで散らかりっぱなしの本を視界から消して、AppleWatchからシャレたジャズなどをBluetoothで発信。
そして、Ringでスピーカーの電源を入れる。

か、完璧だ…!これで、一気に部屋が快適になったぞ!!!
きっと10年後には、部屋で失せ物するとかいう冴えない世界とはおさらばだ!
こんにちは未来!ありがとう技術!!

っても、実際、部屋は全然片付いてないんですけどね。
来栖川重工たのむ!!はやくお片づけ好きなロボットを作ってくれ!



編集
後記

最近、枚数の少ない書類をまとめる時は、千代紙で折ったクリップを使うことにしています、ひとつひとつ手作りです!

ピングプラン通信 2015年5月号
題字: 鈴木啓義(書道家・篆刻家)
連絡先: 03-5817-4308